

ベトナム人材市場から独自のニュースを毎月お届け！！



HR-Link ニュースレター

2017年12月号

18年度の最低賃金、都市部は6.1%引き上げへ

政府はこのほど 2018 年度の地域別最低賃金引き上げに関する政令を公布した。これにより民間企業の最低賃金は 2018 年 1 月 1 日より 6.1%~7.0% 引き上げられることになる。国家賃金審議会が政府へ提出した最低賃金案と同等の引き上げ幅となった。

地域別の最低賃金は以下の通りである。

第 1 種：375 万 VND (約 1 万 8800 円) ~398 万 VND (約 2 万円)

第 2 種：332 万 VND (約 1 万 6700 円) →353 万 VND (約 1 万 7700 円)

第 3 種：290 万 VND (約 1 万 4600 万円) →309 万 VND (1 万 5500 円)

第 4 種：258 万 VND (約 1 万 3000 万円) →276 万 VND (約 1 万 400 0 円)

上記の最低賃金は職業訓練を受けていない労働者に適応されるもので、訓練（企業内研修も含む）を受けた労働者の場合はこの最低賃金に更に 7% を上乗せした賃金を支払わなければならない。これは通常の労働条件および時間内で勤務する場合に適用され、残業や夜勤、重労働、有害な環境での労働は対象外となる。

最低賃金がそれぞれ異なる複数の拠点を展開する企業の場合、拠点ごとに各所在地の最低賃金を適応しなければならない。なお、第 1 種地域は主にハノイ市、ハイフォン市、ホーチミン市、ドンナイ省、ビンズン省、ブントウ省の一部の区域で、第 2 ~ 4 種地域は経済の発展度合いに応じてそれぞれ地域が指定されている。

目次

特集記事

18年度最低賃金引き上げへ	1
ベトナムでテロに遭う可能性	2
市場が盛況な理由	2
現地採用者の住宅事情	3

今号のハイライト

時事ニュース	2
街角便り	3
今月の一品	4



ベトナムはテロの標的になりにくい国！？

オーストラリアに本部がある経済・平和研究所が発表した「世界テロリズム指数」によると、ベトナムは調査国 130 か国中、最もテロの影響を受けにくい国のグループに入っていると伝えられた。

同調査では調査国のテロ指数を 0～10 までの値で表し、数値が高いほどテロの影響を受ける可能性が高いとされている。ベトナムはこの指数が 0 ポイントで、最も安全な国の一つとい評価が下された。

一方日本は 3.595 ポイントで全体の 58 位となっており、1 位は 10 ポイントのイラクで

あった。他にも上位国には主に中東、西アジア、北アフリカの国が挙がっている。

同レポートによると、2016 年における世界のテロによる死者の数は 2014 年比と比べて 22%減少しているが、2016 年はテロの発生した国の数が逆に増加しており、77 개국で一人以上が死亡していると発表している。

また 2016 年は 2000 年以降で 3 番目にテロが多い年となっており、今後世界でのテロ発生予防の対策が求められている。

時事

ベトナム人の英語力の平均は日本より上！？

スイスに本部を置くグローバル教育機関「EF エデュケーションファースト」が発表した世界英語力ランキングによると、ベトナムは非英語圏の世界 80 개국中の中で 34 位で、アジア 20 개국中では 7 位につけている。日本は世界 37 位、アジアで 9 位の結果となった。

ベトナムでは近年英語教育に力を入れており、幼いころからの英語教育も保護者を中心に関心と呼んでいる。ベトナム国内のローカル番組でも英語教育を奨励するような番組が頻りに流れており、国全体の英語力を向上させる狙いがうかがえる。

現在ではホーチミンやハノイのような都会では若者を中心に英語を操る層も増えており、この傾向は今後も続く予想されている。一方で農村の地域では依然満足な教育を受けることのできない貧困層も多数おり、今後教育格差をいかに少なくしていくということも同時に解決すべき課題だ。

ベトナムの市場が現在でも活躍している理由

ベトナムでも近年はスーパーマーケットの普及に伴い、依然と比べて買い物は一か所で済ませることができました。

しかし依然昔からの市場も日々賑わっており、衰退の傾向はあまり見られません。この理由としてベトナム人の生活習慣というのが関係しているそうです。

まずベトナム社会では結婚後、子どもが小さくても母親はフルタイムで働くことが普通です。そんな母親にとっては仕事を終えてから夕食の食材を購入して家に帰るという方が大勢います。そんなときわざわざバイクを駐車せずにそのまま食材を買うことのできる市場は時間の短縮で非常に便利だそうです。

またベトナムではまだまだ食材の安全に関して不安定な部分があり、生産者が不明なスーパーでは買い物をするのに若干不安を抱えている方たちも少なくありません。そういったときに生産元がはっきり分かっているような顔なじみの市場で買うのは安心できるということもあるようです。

市場は時間帯によっては安く買うことができるのも魅力の一つです。ベトナムのスーパーではタイムセールのような見切り品の販売がありません。一方個人で販売している市場では生鮮品は日を跨ぐと売り物にならなくなってしまうので、夕方過ぎにはなんとか売り切ってしまうと、値下げを始めます。そのときの値下げ幅も販売しているおばさんの裁量でランダムに決められます。顔なじみで普段から最良にしていると値引き額も大きくなりやすいそうです。

こういった要素から、スーパーマーケットが普及した現在でも変わらず市場を利用しているベトナム人も多く、現時点では目立った衰退傾向はみられません。一方でスーパーマーケットの大量仕入れによる安売りの波は市場のほうにも影響がきており、個人で販売をする人たちにとっては中々値段での対抗が難しいのが現実です。

また市場で販売している人たちは高齢者が多く、若い人が市場での販売人になりたがらないという傾向があります。現在では依然市場の存在が成り立っていますが、10 年後、20 年後となるにつれて、徐々に規模が縮小されていくことは避けられないかもしれません。



現地採用者のためのベトナム住宅事情

初めてベトナムで生活となると住居を探さなければなりません。就職先の企業のほうで既に準備されているということもありますが、自分で物件を選んで住居を決めるというケースもあります。今回はベトナムで住居を選ぶ際の注意すべきポイントをご紹介します。

1、まずは住居の形式から

まずは自身の予算に合わせてベトナムで済む住居のタイプから選択しましょう。

①サービスアパートメント

料金によって広さ、施設のレベルに最も差がある住居です。通常は部屋の掃除や洗濯を行ってくれるメイドがついており、施設によってはプールやジムなども併設されています。料金は単身の方なら500USD程度からあり、外国人慣れしているオーナーが多いので何かトラブルがあった時でも英語で対応できるケースが多いです。

②ローカルアパート

いわゆる現地のベトナム人が住んでいるアパートですが、その分料金は安めになります。もちろん掃除、洗濯などのサービスはついておりませんが、しかし大型のアパートでは階下にスーパーやジムなどが併設されていることもあり、最近では都会を中心にこの手のアパートの建設が進んでいます。しかし英語も通じないことが多く、かつ外国人には貸し出ししていないことも多いので、事前によく確認しておく必要があります。

③ルームフォーレント

こちらは1件の家の中にある一室を借りるという形式になります。半分ホームステイのような感じになりますが、部屋の中にキッチンやシャワールームなどがあるところもあり、一定のプライバシーを保てるような間取りになっております。主に留学生などの学生に利用されておりますが、200USD程度が大体の目安になります。

街角便り



占い師の教えで実孫を殺害：

北中部にあるタインホア省で新生児が殺害される事件が発生した。殺害した犯人はその新生児の父方の祖母であることから社会に波紋を呼んでいる。

警察によると事件当日、義理の娘が台所で家事をしている途中に殺害したと供述しているが、当初「家の前でバイクにのった男女から暴行を受け孫をさらわれた」と話し、家族とともに警察に届け出たとされている。

警察の質問に対し、他に目撃者がいないことや容疑者の話に矛盾がある点に目をつけ取り調べたところ同容疑者の犯行であることを認めたので逮捕にいたった。

殺害の動機として占い師からの進言があったと語っており、「その新生児は家族に悪運をもたらし、その子が生きれば自分が死ぬ」と言われたためであるという。

新生児の遺体は自宅から10km離れたごみ処理場で廃品回収の女性により発見された。警察は事件の全容を解明すべく引き続き捜査を進めている。

ベトナムでは節目のときに占い師に助言を求めることが多く、田舎の地方では現在でもその言葉に従って物事を決めることがよくあるとされている。今回の事件はこの占い師の言葉を鵜呑みにして及んだ犯行であるが、周囲の人々はその異常性に驚きを隠せないようだ。

今月の一品



ザウ ムオン サオ
(Rau Muống xào)

ベトナムを代表する野菜、rau muống (空心菜) です。日本ではあまり馴染みが無いかもしれませんが、中国を始めアジア各国で食されている代表的な野菜です。

ベトナムでもこの野菜が食卓に並ぶのは日常茶飯事で、ベトナムに来てこれを食べないことはないというくらいメジャーな野菜です。

今回ご紹介するのは空心菜炒めです。空心菜とベトナムの調味料、そこにニンニクを合わせて炒めたシンプルな料理ですが、ご飯のおかずにもお酒のあてにもある万能な料理です。炒める以外に茹でて食べるのも美味しいのでお勧めです。 40000ドン (200円) ~

お問い合わせ

HR-Link.Vietnam

15Fl., TTC Bldg., 19 Duy Tan St., Dich Vong Hau Ward, Cau Day Dist., Hanoi (ハノイ本社)

553 Xo Viet Nghe Tinh, Binh Thanh District, Hochiminh City (ホーチミンオフィス)

東京都中央区日本橋箱崎町
32-3 11F 日本 HR リンク株式会社 (日本拠点)

Tel: (84-24) 3795-7037 (ハノイ)
Fax: (84-24) 3795-7038 (ハノイ)
Web: <http://hr-link.com>

HR-Link.Vietnam は、人材紹介事業を通じて企業の事業拡大と個人の自己実現をサポートし、豊かな社会づくりに貢献します。

2、部屋を借りるときにチェックすること

①家賃に含まれているものを確認

物件によっては家賃に水道光熱費が含まれていたり、Wi-Fi などの通信費が含まれているケースもあります。借りる前に事前に確認しておきましょう。また通常必要な家具や家電が標準装備されている物件がほとんどですが、不足しているものがあつた場合、それもつけてもらえるか交渉できる場合もあります。家賃の支払いは3か月や半年分などまとめて支払うパターンが多いですが、まとめて支払う期間が長いほどディスカウントしてもらえるかもしれません。

②部屋の水回りをチェック

新しい物件でも水回りがきちんとされていない部屋もあるので要注意です。特にキッチンのシンク下は死角になるので要注意です。この部分は水漏れなどだけではなく、排水溝の状態も確認することができます。ここがきちんとなくなると水だけでなく臭いや害虫の発生原因にもなりますので注意が必要です。

③セキュリティはどうか

マンションなどの入り口に守衛がいる場合がほとんどですが、きっちりと仕事をしていそうか、24時間体制で警備をしているのか、他人が簡単に出入りできないようになっていかなどの確認も必要です。特に外国人がよく入居している物件では、それを目当てにした空き巣の存在もあるので、しっかりチェックしておきましょう。

④隣近所にどんな人が住んでいるのかも確認しておく

可能な限り隣の住人がどんな人が確認しておきましょう。ローカルのベトナム人が住んでいる場合、騒音などで悩まれるケースもよく聞きます。また生ごみの処理などをきちんとしない結果部屋に悪臭やゴキブリなどが侵入してくるというケースもあります。まあ外国人であっても安心はできません。人によっては夜中まで友達を呼んで大勢で騒いだりする事例もありますし、楽器の演奏をしたりなど様々な事例が報告されています。

3、お手伝いさんにも一定の警戒を

①金銭などは目に見えるところにおいて置かない

部屋の掃除をお手伝いさんに頼む場合は、金銭の類を目に入るところに置かないようにしましょう。女性の場合は高価な化粧品などもその対象になります。疑いの目をもって接するのは心苦しいかもしれませんが、外国ですので仕方ありません。仮に取られたとしても自己責任で片付けられますから、始めから取られないような状況を作っておくのが一番です。

②掃除洗濯の質に完ぺきを求めない

掃除の仕方や洗濯に関してよく苦情が出ます。もちろん何かあればしっかり伝える必要がありますが、本人は悪気が無い基準でしている場合もありますので、初めのうちは少し我慢が必要かもしれません。真面目な人なら時間が経つにつれ質も改善されてくると思います。

以上、ベトナムで住居を探す際にチェックする簡単なポイントです。入居後の予想外のトラブルが少しでも少なくなれば幸いです。

本ニュースレターに関するご要望、ご意見、その他弊社人材に関するお問い合わせは左記の連絡先または info@hr-link.jp までお願いいたします。